



## 「治療をやめないで！」

### ージョン・ディマティーニ,D.C.

もう何年も前の話になるが、ある男が目を血走らせ怯えきった顔をして私のクリニックにやってきた。彼は、私のクリニックで重度の糖尿病から救われる事を期待していたのだった。そして彼は、青緑色の大きな丸い潰瘍に覆われた脚を私に見せた。その週、彼は主治医から彼の左足を、さらにその後には右足を切断する必要があると告知を受けていた。だから彼は、死に物狂いになって何か別の治療法がないかと探し回っていたのである。

「脚を失うなんて絶対に嫌だ。お願いだから助けてください。」と泣き叫んだ。

私は問診と検査を行い、彼の症状に関係していると思われる背骨のサブラクセーションや、健康を危うくさせていると思われる彼の生活習慣を明らかにしていった。それらの結果から、彼の力になれると判断したのである。彼はこれまでに、全くカイロプラクティックを受けた経験もないし、受けようとも考えたこともなかったようである。彼はただインシュリンやその他の薬をとり症状を誤魔化しながら生活を送ってきたのであった。私は検査結果をもとに、カイロプラクティック・アジャストメント、食生活、サプリメントのプログラム、エクササイズのプログラム、更には精神的サポートのためのアドバイスまでを含めて治療計画を立てた。私はこれまでの治療経験からこの方法によるアプローチで多くの患者が順調に回復してきたのを見てきているので、彼の場合もきっと助ける事ができると確信していた。私は彼の背骨を週 3 回アジャストメントし、その他の指示に関してもきちんと実行できているかどうかをチェックした。私はアジャストメントや治療プランに関して、当初は自信を持って進めていたが月日を追う毎にその自信が薄れていった。

治療を始めてから 6 ヶ月に渡り特別の注意を払って彼を診てきたが、彼にとって他に何かもっと有効な治療があるのではないかと感じ始めていた。私はこれまでの治療による成果に満足していなかったため、面談の時間をとって彼に他の治療法を探したほうが良いのではないかと提案した。彼は私を遮りこう言った。

「Dr.ディマティーニ、お願いだからここでの治療を終わりにしようなどと言わないでください。これからも治療を続けると言ってください。頼むから続けてください。あなたは私を助けているんだ！」

私は彼にこれまでの治療の成果について満足していないこと、つまり私の期待通りの結果が出ていない、そしてこの事を彼にハッキリと知らせるべきだと判断した事を説明した。すると彼は涙を流しながら、

「Dr.ディマティーニ、私は6ヶ月前にすぐにでも両足を切断し二度と自分の足で歩くことができなくなると言われました。でも見てください。6ヶ月経った今でもこうして自分の足で歩くことができている。だから、お願いします。治療を止めるなんて言わないでください。治療を諦めないでください。私にはあなたの治療がうまくいっていることがわかるし、もうすぐ良くなることがわかるんだ。お願いします。アジャストメントをやめるなんて言わないでください。どうか見捨てないでください。お願いします。」

彼の確信に満ちた訴えは少なからず私の心を動かした。私の心にも新たに希望が芽生え、私は彼にもう6ヶ月一緒に治していこうと言った。しかし、もし私がこれ以上改善の余地がないと判断した場合、彼に他の選択肢を提案することを付け加え、彼はそれに同意した。

私たち二人はそれからの数ヶ月間、一生懸命治療に専念した。その結果、彼の足にあった潰瘍は少しずつ回復していき、変色していた皮膚も綺麗になっていった。

あれからちょうど6ヶ月がたち、彼の足はすっかり元どおりになり、生活習慣も改善された。彼の人生そのものが喜びと生命力に満ち溢れていた。そして彼は仕事にも復帰を果たしたのである。彼と私はカイロプラクティックの力に心から感謝した。彼は私に忍耐と不屈の努力という素晴らしいレッスンを与えてくれた。彼は「自分をつくった力：パワーが自分を治す」ということを思い出させ再確認させてくれた。その経験を通じて、治癒力というものは医師や患者の「早くなんとかしたい」という自分勝手な都合とは正反対に、目に見えないかたちでじっくりとかつ確実に働いていくものだということを実感させられた。それ以来、私は以前より長い治療計画を立てるようになり、より現実的な治療プランを設定することにした。さらに患者に対して確信を持ち意識を集中させ、感謝や愛をもって接することを学んだ。私は、人々にとって希望を持つということがどんなに大切なことか、そして愛すべきカイロプラクティックがどれほど希望の象徴となっているかがわかるようになったのだ。

カイロプラクティックのココロ（科学新聞社）

ジャック・キャンフィールド、マーク・V・ハンセン、ファブリシオ・マンシーニ, D.C.

共著：Chicken Soup for the Chiropractic Soul の和訳 p269 より抜粋

岡井健,D.C.監修 谷村聡,D.C.訳（Dr.エガワ校正）